

地球温暖化問題への大学生の知識と意識に関するアンケート調査の報告 A Report of the Questionnaire about the Knowledge and Consciousness of Undergraduate Students on Global Warming

小石 和成^{1*}
Kazunari Koishi^{1*}

¹ 京都大学防災研究所
¹ Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

地球温暖化問題は、一過性の社会的関心にとどまらず、長期的な展望で取り組む必要がある。ここでは、国や自治体での温暖化対策への利用や、地球温暖化に関する教材作成の際に参考とするための基礎資料作成を目的として、地球温暖化への知識と意識についてアンケートを行った結果を報告する。調査対象は教養科目を受講する大学生であり、調査項目としては、とくに地球温暖化への関心・知識・対策への意識に絞った。対策については、ライフスタイルをどれだけ変えて取り組むべきかという点についても調査した。地球温暖化への意識としては、ライフスタイルを変化させて取り組むという意味や、エネルギー利用からの環境負荷軽減を求める回答なども多くでており、高い環境意識がみられた。教育面としては、特に温暖化の原因について知識があいまいであることが示唆された。このような知識を改善し、大学生の持っている対策への関心の高さを生かす一つの形としては、温暖化対策の実施機関と協力した教育が挙げられる。二酸化炭素削減につながる低炭素エネルギーの利用や、地球規模での気候の変化から及ぼされる自然災害のリスク情報の活用など、対策を行っている機関との連携を持った地球環境教育を推進すべきである。

キーワード: 地球環境問題, 地球温暖化, 理科教育, アンケート調査
Keywords: global environmental issues, global warming, science education, questionnaire